

平成30年度 市川市立第四中学校学校経営方針

学校教育目標

「知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
～個性豊かで、明るく、たくましい生徒～

経営方針

ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動を展開し、
「自分が好き、友達が好き、四中が好き」と言える、生徒の育成を目指す。

ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動を展開するとは……

- 1 どの生徒も参加できる（参加したい）活動になるよう工夫する。
- 2 どの生徒も達成感が得られるよう、個に応じた柔軟な目標設定や支援を行う。
- 3 安全で安心して活動できる環境を設定する。
- 4 生徒が求める（生徒に必要な）情報をわかりやすく提供する。
- 5 間違いや失敗を許容し、試行錯誤する機会と時間を保証する。

目指す生徒像 「自分が好き、友達が好き、四中が好き」と言える生徒

「自分が好き」 自分の良さや可能性を認められる生徒

「友達が好き」 人は皆違い、其々の良さがあることを認められる生徒

「四中が好き」 何事にも意欲的に取り組み、母校に誇りが持てる生徒



「目指す生徒像」を実現するために

目指す教師像 ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動を展開する教師

- 生徒理解に努め、個々の生徒を大切にする教師
- 絶えず研究と修養に努め、協働できる教師
- 保護者や地域への説明責任を果たし、信頼される教師

四中の現状と課題

- ・本校の生徒は、中山小学校及び若宮小学校の出身者が90%を上回る。そのため、9年間の義務教育の中で子どもを育てるとの共通理解の下、四中ブロック3校の連携を深めている。
- ・家庭環境に恵まれた生徒も多いが、その一方で、保護者が深刻な課題を抱えており、子どもの健全な発達が阻害されているケースもかなり混在している。
- ・精神的に脆い生徒が多く、反社会的行動をとる生徒は少ないが、不登校に陥りやすい。
- ・「理想の自分」と「現実の自分」にギャップがあるためか、自己肯定感の低い生徒が多い。

本年度の経営重点

(I) ユニバーサルデザインの視点を生かした教育活動を展開する。

★ 学力の向上を図るために

以上の取組の進捗状況を把握し、改善を図るため、7月・12月に授業評価を行う。

○わかりやすい授業の実現とともに、生徒の主体的な学習を推進する。

板書に関する共通ルール徹底 課題解決型授業等、指導法の工夫

言語活動の充実・ICT及び図書資料の積極的活用 1人1研究授業の実施

研究指定…理科センター校

○個に応じた指導・支援の充実を図る。

T.T授業（1年理科、3年数学）の実施

配慮や支援を必要とする生徒の情報の収集と共有化の徹底

○生徒が、安心して授業に集中できる環境を構築する。

教室環境の整備 授業規律の徹底

○下位層の生徒の基礎学力を培うため、家庭学習の習慣化を図る。

1日1ページ学習の推進 学習会・校内学び塾の有効活用

★ 豊かな心を醸成するために

○道徳の授業及び道徳性を培う体験的な活動の充実を図る。

挨拶運動の推進（ブロックの保護者・地域・学校合同挨拶運動を年3回実施）

いじめ防止キャンペーンの推進 いじめに関する道徳授業の実施

学区小学校・地域へのボランティア活動の推進

○自己指導力（規範意識）を身に付けさせる。

生徒会や各種委員会活動、班活動による自治意識の醸成 小中共通ルールの作成

★ 健康な心身を培うために

○基礎的体力の向上を図る。

個に応じた目標設定と支援の充実

○健康・安全教育を包括的に推進する。

保健委員会・体育委員会等を中心とした生徒による啓発活動の推進

自転車・SNS・薬物等に関する啓発活動の推進

○実効性のある防災訓練を実施し、防災意識を高める。

学区小学校との合同引き渡し訓練 地域防災訓練との連携

(II) 義務教育9年間を見通した教育活動を展開する。

★ 四中ブロック小学校・中学校連携活動の推進

○課題別に部会を設定し、交流活動の充実とルールの共通化を推進する。

[部会]学力向上・いじめ防止・特別支援教育・図書館教育・理科センター校

安全・体力向上・英語・道徳 の9部会

[交流事業]サイエンスパーク 理科作品展 創作ダンス発表 読み聞かせ

ビブリオバトル 学び塾への参加 中学校訪問 小中合同避難訓練